



再会と感動

■平成16年4月24日(土)： 於 県ヶ丘高校体育館



第一部：パネルディスカッション

- テーマ 「その時 自分史が動いた」
- パネリスト 一級建築士 清水宏
 伝統工芸士 武井豊子
 ソプラノ歌手 稲葉美和子

芸術・創造の世界に進んだ仲間によるパネルディスカッション。内二人は、県陵の先輩との出会いが今の道に進むきっかけに。

第二部：稲葉美和子ソプラノリサイタル

■第37回東京同窓会：6月12日

「集え! 大人の県陵祭♪」



■特別企画

- 二木一郎 日本画展
 10月13日～19日：於 井上百貨店
- 稲葉美和子ソプラノリサイタル
 10月16日：於 松本市音楽文化ホール



二六会は、卒業20周年の平成6年6月3日に160余名を集めて以来、結束も固く、25周年では、法被を作って、同窓会に寄贈しました。あの火事のあった学年で、取り壊される予定だった旧松高の建物が曲折を経て、重要文化財に指定されたことに運命のようなものを感じています。

最近も、同期の協働による、CDづくりやお酒のラベル作りをしています。

記念誌の表紙も二木画伯

